

<読解力について>

- 1 読解力とは
- 2 読解力の低下の原因とその影響
- 3 読解力を身につけるには



【1 読解力とは】 小学生が読解力を身につける為には

- ・読書をする
- ・親子の会話を増やす
- ・要約する力を身につける
- ・人に正しく伝える力を身につける

ことが有効です。ただ、読解力が下がっていると急に言われても

- ・何をすればいいの？
- ・家庭でできることを教えて？
- ・そもそも読解力って？

と分からないことも多くあります。



つまり読解力とは、

- ・文章の内容を「取り出す」だけでなく「理解・熟考・解釈」ができること
- ・文章を「読む」だけでなく文章を利用して自分の意見を論ずる等「活用」できること
- ・文章の内容だけでなく「構造・表現法」も理解できること
- ・文章だけでなく「図、表、グラフ」からも読み取り活用できることを示す力です。

一言で、読解力を説明すると

「文章やグラフを読めるだけでなく、理解したうえで自分の意見も言えること」となります。

【2 読解力低下の原因とその影響】

読解力の低下の要因は、

- ・読書「量」不足
 - ・読書内容の「理解力」不足
 - ・読書内容の「アウトプット」不足
- この三つが要因であると考えられます。例えば、読解力が低いことで
- ・文章を正しく理解できない
 - ・図やグラフを正しく読み取れない
 - ・フェイクニュースに騙されてしまうことも
 - ・人の意見を理解できず、的外れな会話をしてしまう

ということが起こり得るでしょう。



読解力と言うと「国語」だけというイメージをお持ちの方も多のですが、実際には算数、理科、社会など多くの教科に影響をもたらしています。

算数の文章問題や理科のグラフや図から読み取る力、社会の歴史的背景から想像する力など国語以外にも多くの影響を与えるものです。

【3 読解力を身につけるには】

1. 読書を習慣にする

読解力を身につける方法一つ目は「読書習慣」です。読書の量を増やすことで、語彙力の向上・表現方法の学習・知識量の増加などのメリットがあるでしょう。まずは、10分程度でもいいので、毎日継続的に行い習慣にするのがおすすめです。



2. 声に出して本を読む

二つ目の読解を身につけるコツは「声に出して本を読む」ことです。人間は文章を読むときに、声に出さない場合、単語のみが抽出されインプットされることがあります。例えば「私」「昨日」「嫌い」「ピーマン」「食べた」というように単語だけでも意味は何となく分かるでしょう。ただ本来は「助詞」「接続詞」「句読点」も正しく認識しなければなりません。その理由は、

- ・私は、昨日も嫌いなピーマンを食べた。
- ・私は、昨日は嫌いなピーマンを食べた。

このように「も」と「は」の一文字の違いですが、主人公の感情は大きく異なってきます。

これを把握するのが「読解力」です。

その為、子どもの頃はこれを正しく認識する為に「音読」をして正しく文章を読む力を身につける必要があります。おすすめは同じ文章でも「3回声に出して」読むことです。3回読むことで気付かないことに気付けることもあります。

3. 本を要約する

3つ目の読解力を身につけるコツは「本を要約すること」です。本を要約することで文章の正しい認識を深めることが可能です。また「要約する」と意識すると何度も文章を読み返す為、読解力も上がります。最初は、400字程度に要約していくのがおすすめです。最初の頃は要約できたことを褒めて表現し切れていないところは、会話の中で深めていくとよいでしょう。

4. 子どもが人に本の説明をする

4つ目の読解力を身につけるコツは「誰かに本の説明をする」ことです。ラーニングピラミッドにもあるように人は講義を受けるよりも「教えること」が最も学習定着になるのです。



5. 親子の会話を増やす

5つ目の読解力を身につけるコツは「親子で会話を増やす」ことです。具体的には親子で一緒に本や映画、漫画を読み感想や意見を話し合しましょう。その時の親子の会話コツは、

- ・「誰がどうなったのか?」
- ・「(子どもが)なぜそう思ったか?」の2点を聴くことです。この二つで「事実」と「読者の感想」を把握することができます。子どもは自分の意見を根拠を持って伝えていくことで読解力が身につきます。最初は簡単な漫画などで始めて、親子の会話を増やしてみてください!!

